

# 調剤学

責任者 : 高橋 勝雄 教授  
担当講座(科) : 臨床薬剤学講座、創剤学講座

講義 18時間  
単位 1単位

## 学 年

4学年 前期

## 学習方針

### 基本理念 :

特定患者の特定疾患に対し、治療上薬剤が必要な場合に医師によって発行されるのが処方せんであるが、調剤はこの処方せんに基づき薬剤師が医薬品を調製し、患者に交付する業務である。本講義では、処方される各種医薬品の剤形、調製法、配合変化、投与方法、などについて解説する。同時に、法的に明記されている薬剤師の職能として、医薬品の品質、有効性、安全性の確保の責任について理解できるよう目指す。また、臨床薬剤学と同時期に並行して学ぶことにより、知識、技能、態度を確実に身につける。

### 一般目標 (GIO) :

医薬品の分類と取り扱い、調剤の流れ、処方せんとその鑑査及び疑義照会、調剤薬鑑査を中心にして調剤に必要とされる全般的な知識・技能・態度を修得する。さらに、錠剤、散剤、液剤（内用、外用）、軟膏剤、注射剤などの剤形別調剤方法について解説し、実践で対応できる能力の向上を図る。

### 到達目標 (SBOs) :

1. 医療における薬剤師の使命や倫理などについて概説できる。
2. 医療の現状をふまえて、薬剤師の位置付けと役割、保険調剤について概説できる。
3. 処方せんの法的位置付けと機能について説明できる。
4. 処方せんの種類、特徴、必要記載事項について説明できる。
5. 調剤を法的根拠に基づいて説明できる。
6. 代表的処方せん例の鑑査における注意点を説明できる。
7. 不適切な処方せんの処置について説明できる。
8. 疑義照会の意義について、法的根拠を含めて説明できる。
9. 疑義照会の流れを説明できる。
10. 患者に適した剤形を選択できる。
11. 患者の特性（新生児、小児、高齢者、妊婦など）に適した用法・用量について説明できる。
12. 病態（腎、肝疾患など）に適した用量設定について説明できる。
13. 計数調剤の調剤方法を説明できる。

14. 計量調剤の調剤方法を説明できる。
15. 各種剤形ごとの調剤方法を説明できる。
16. 代表的な配合変化の組み合わせとその理由を説明できる。
17. 調剤された医薬品の鑑査手順と鑑査する際の注意点を列挙できる。
18. 無菌操作の原理・方法が説明でき、それによって調剤する必要のある薬剤を列挙できる。
19. 抗悪性腫瘍剤などの取り扱いにおけるケミカルハザード回避の基本的な手技を説明できる。
20. 注射剤の代表的な配合変化を列挙し、その原因を説明できる。
21. 代表的な輸液と経管栄養剤の種類と適応を説明できる。

### 講義日程

月日	曜	時限	講座(科)名	担当者	内 容
4/ 7	木	2	臨床薬剤学講座	藤原 邦彦 准教授	総論(1) 医薬品の適正使用、医薬品の分類と取扱、添付文書の読み方
4/14	〃	〃	〃	〃	総論(2) 調剤の流れ、処方せん、調剤に必要な設備・器機
4/21	〃	〃	〃	〃	総論(3) 疑義照会(用法・用量、配合変化、相互作用、重複投与) 医師との連携
4/28	〃	〃	〃	〃	総論(4) 調剤薬の鑑査、調剤過誤防止対策
5/12	〃	〃	〃	〃	各論(1) 錠剤・カプセル剤および散剤の調剤(粉碎調剤、計数、秤量、賦形薬、混合、分包、配合変化ほか)
5/19	〃	〃	〃	〃	各論(2) 内用液剤の調剤(内用液剤の種類と調剤方法、秤量、混合、配合注意ほか)
5/26	〃	〃	〃	〃	各論(3) 外用液剤調剤(外用液剤の種類と調剤方法)
6/ 2	〃	〃	創剤学講座	松浦 誠 講師	各論(4) 軟膏剤・坐剤の調剤(軟膏剤の種類、混合、配合変化、坐剤の種類と調剤方法)
6/ 9	〃	〃	〃	〃	各論(5) 眼軟膏剤、点眼剤の調剤、麻薬調剤
6/16	〃	〃	〃	〃	各論(6) 注射剤調剤①(投与経路、注射処方鑑査の留意点、混合時の留意点ほか)

月日	曜	時限	講座(科)名	担当者	内 容
6/23	木	2	創剤学講座	松浦 誠 講師	各論(7)注射剤調剤②(輸液類の知識、高カロリー輸液の知識と調製ほか)
6/30	〃	〃	〃	〃	各論(8)注射剤調剤③(抗悪性腫瘍薬の調製ほか)

#### 教科書(教)・参考図書(参)・推奨図書(推)

	書 名	著者名	発行所	発行年
教	調剤学総論 改訂10版	堀岡 正義	南山堂 (定価 未定)	2011
参	調剤指針 第12改訂増補版	日本薬剤師会 編	薬事時報社 (定価 3,200円)	2008
参	(ビジュアル薬剤師実務シリーズ; 1) 薬局調剤の基本: 処方せん受付から 調剤, 鑑査, 服薬指導まで	上村 直樹 監・ 編	羊土社 (定価 3,200円)	2008
参	(ビジュアル薬剤師実務シリーズ; 3) 病院調剤と医薬品管理の基本: 調剤 の流れ, 院内製剤から医薬品情報の 活用まで	上村 直樹 監修	羊土社 (定価 3,200円)	2009

#### 成績評価方法

講義の出席状況、定期試験、小テスト、レポートなどから総合的に判断する。